

# 視点

## 子育て支援にかかわって

後藤 清恵



八年前の早春、ある地域の子育て支援施設のスタッフから自分たちの取り組みにかかわって欲しいとの依頼を受けました。当時私は、思春期・

青年期外来で心理療法を担当する臨床心理士から、短期大学の幼児教育学科の教師として職を移したばかり

でした。それまでの臨床で幼児期における人とのかわりの重要性を実感していましたし、保育所、幼稚園、

小学校の先生方の橋渡し役を務めることも多々ありましたので、その依頼を喜んで引き受けました。

子育て支援の取り組みは当初、人口対策として少子化に歯止めをかける目的が色濃かったと思いますが、次第に、子どもを持つ親の支援に加えて保育を受ける子どもへの発達支援や生涯学習の視点が加わり、保育を教育サービスの一つとして位置づけ

るようになっていきました。幼児期のうちに子どもの特性に気づき、適切な支援を実施することが大切であるという考え方です。そうすることが学童期以降の二次的な適応障害を作らないで済むと考えるわけです。

子どもの特性としての発達障害に気づくとは、保護者や保育者と共に子どもの発達特性に対する認識とその対処方法についてみんなで知恵を絞ることです。

忘れられないA君という幼児がいました。母親に連れられて外来に来たとき、A君は保育園の年長さんでした。にこにこ早口で「ねーお話ししていい？聞いて……」と動き回りながら、たみかけるように話し始めたのです。朝起きてからの出来事、家の前の小川が山の方まで繋がっているから歩いていったこと

を、水の流れのおもしろさを説明しながら話してくれました。お母さんはA君に着席を繰り返し促すのですが、聞き入れないことで「とにかく自分の興味だけで行動してしまう。

朝からパジャマも着替えずにどこかに行ってしまう、家族が手分けして探すなど大変なんです。」と途方に

暮れた表情でした。A君はそんなお母さんにおかまひなく話し続けるのですが、A君の一瞬の視線は、母親の負の情緒を感じていることを伝えて

いました。そのことを母親と共有し、A君の特性への対応を話し合ったことを覚えています。保育園には喜んで通い、園の先生方もA君を受けとめてくれている様子でした。しかし、A君が小学校中、高学年になった頃、「僕なんかいない方がいいんだ」「どうせ僕なんか……」と言っ

ては家で荒れること、学校に行きたがらないことなどを母親が電話を入れてくるようになりました。すでに転動していた私は、周囲の負の情緒や評価がA君を追い込んでいることに胸を痛めました。担任がA君の行動や態度の特性を理解してくれないことに母親も苦しんでいました。継続的な教育支援が必要と思われるA君を簡単に紹介しました。

LD、ADHD、HFPDD、ADHDなどの発達障害では、遅くとも学童期には問題が顕在化してくるものが分かっています。学校不適応などの二次的な不適応という経過をたどりやすいのです。この二次的な不適応を予防するためには、子どもの発達障害への「気づき」を前倒していくことなのですが、何よりも重要なのはA君が教えてくれているように、かわる人々の連携と援助の連続性です。「子どもの特性」として理解する視点が共有されて初めて、生涯支援への道が開かれると考えています。

(新潟大学歯学総合病院生命科学医療センター遺伝子診療部門)

大会  
テーマ  
次代を担う子どもたちのために  
〜家族の絆に心ゆたかな子

## 第23回PTA全国大会が盛大に開催

麻生太郎内閣総理大臣からご祝辞も



河村建夫内閣官房長官、衆議院議員



司会は山本順三PTA連副会長、参議院議員



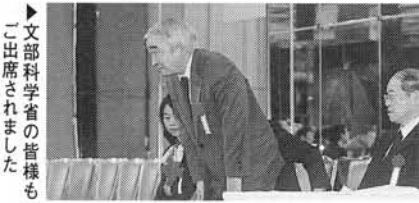
森喜朗PTA連会長がご参加の皆様にお礼を述べました

Akasaka Grand Prince Hotel

▲開会の辞を述べる遠藤利明PTA連副会長、衆議院議員



▲公務ご多忙の中、麻生太郎内閣総理大臣のご臨席をいただきました



▼文部科学省の皆様もご出席されました



11月19日

グランドプリンス  
ホテル赤坂

十一月十九日、午後一時から東京・紀尾井町のグランドプリンスホテル赤坂で全日本私立幼稚園PTA連合会(森喜朗会長)の第二十三回PTA全国大会が開催されました。

「次代(あす)を担う子どもたちのために〜家族の絆に心ゆたかな子」を大会テーマに、全国各地から保護者代表、幼稚園関係者など約一千百人が参加しました。また、自由民主党の国会議員をはじめ文部科学省関係など約三百人の来賓の出席をいただきました。

大会式典では、遠藤利明全日私幼PTA連副会長(衆議院議員)の開会のあいさつの後、森喜朗・全日本私立幼稚園PTA連合会会長(元内閣総理大臣、衆議院議員)があいさつをされ、続いて吉田敬岳全日私幼連会長があいさつをされました。来賓祝辞では麻生太郎内閣総理大臣、塩谷立文部科学大臣、河村建夫内閣官房長官、与謝野馨内閣府特命担当大臣(経済財

# カメラ グラフ特集

▶与謝野馨内閣府特命担当大臣、衆議院議員



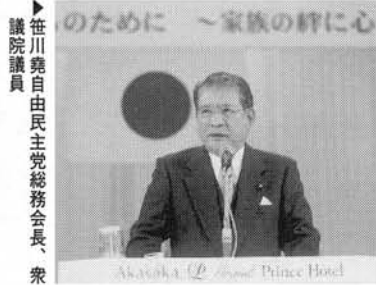
▲細田博之自由民主党幹事長、衆議院議員



▲塩谷立文部科学大臣、衆議院議員



▲橋本聖子外務副大臣、参議院議員



▶笹川堯自由民主党総務会長、衆議院議員



▶吉田敬岳全日私幼連会長

▶野田聖子内閣府特命担当大臣、衆議院議員



▲昭和女子大学学長の坂東眞理子先生が「親の品格、家庭の品格」をテーマに記念講演



▲退任された昨年度の全日私幼P連委員に感謝状を贈呈



▶閉会の辞を述べる月本喜久P連副会長



▲宣言案を読み上げる後藤明美P連副会長

政政策)、野田聖子内閣府特命担当大臣(科学技術政策食品安全)消費者行政推進担当、橋本聖子外務副大臣、自由民主党の細田博之幹事長、笹川堯総務会長からご祝辞をいただきました。宣言では、後藤明美全日私幼P連副会長が宣言案を読み上げ、宣言文が採択されました。感謝状贈呈では、昨年度全日私幼P連の委員を務め、今年度委員を退任された保護者三十一人を代表して北海道の中田隆博さんに感謝状が贈呈されました。記念講演では「親の品格、家庭の品格」をテーマに昭和女子大学学長の坂東眞理子さんによる講演が行なわれました。最後に月本喜久全日私幼P連副会長から閉会のことがあり大会を終りました。

なお、本大会の詳しい内容につきましては、来春発行される「PTA連合会会報」に掲載される予定です。

(全日本私立幼稚園PTA連合会副会長・白玉圭志)

● 11・27 幼児教育議員連盟総会開かれる

## 幼児教育予算の確保に関する決議を採択

十一月二十七日午前八時から、東京永田町の自由民主党本部で幼児教育議員連盟（会長・中曽根弘文参議院議員）の総会が開かれ、国会議員約三十人が出席し幼児教育関係予算等についての協議が行なわれました。文部科学省からは、金森越哉初等中等教育局長、河村潤子高等教育局私学部長、徳久治彦大臣官房審議



▲あいさつを述べる中曽根弘文幼児教育議員連盟会長（写真右）

官、濱谷浩樹初等中等教育局幼児教育課長らが出席。全日私幼連からは、吉田敬岳会長をはじめ副会長、専務理事、総務委員長、政策委員長らが出席しました。

会合では、中曽根会長のあいさつ、吉田会長のあいさつに続いて、文部科学省から予算説明が行なわれた後、全日私幼連から平成二十一年度の幼児教育関係予算の充実及び幼児教育の無償化の実現について要望を行ないました。

その後、質疑応答・意見交換が行なわれ、出席された国会議員からは「人生の土台としての基礎を培う幼児教育は重要」「耐震化では、I s 値〇・六までやるべき」などの趣旨の意見が出されました。

これらの議論を受けて、幼児教育議員連盟は、「幼児教育予算の確保に

関する決議」を採択し、幼児教育関係予算等について、政府、財務省へ申し入れを行なっていくことを確認しました。決議文は次のページの通りです。

### 全日私幼連・私立幼稚園関係 政府予算を要望

十一月下旬から十二月上旬にかけて、全日私幼連では正副会長、総務委員長、政策委員長を中心に、平成二十一年度の私立幼稚園関係政府予算の陳情を精力的に行ない、文教・幼児教育関係国会議員、自民党本部、文部科学省へ強く働きかけました。詳しい活動内容は、本誌一月号でお知らせいたします。

## ニュースのひろば

調査会長を訪れ、平成二十一年度の私学関係予算の陳情を行ないました。私学の各団体の会長らとともに全日私幼連からは吉田敬岳会長が出席し、私立幼稚園関係政府予算の要望を行ないました。

### 全審連総会開かれる 札幌

十月三十日・三十一日の両日、北海道札幌市において、全国私立学校審議会連合会の第六十三回総会が開催され、全国から私立の幼稚園、小学校、中学校、高校、専修各種学校関係者と都道府県私学行政担当者ら約二百人が出席しました。幼稚園関連の課題を扱う第二専門部会の協議概要は次のとおりです。

### 全私学連合・私学予算を要望

十一月十九日、全私学連合（会長・安西祐一郎慶應義塾塾長）は、森喜朗衆議院議員・元内閣総理大臣、保井耕輔衆議院議員・自由民主党政務

●第二専門部会（協議概要）  
一、認定こども園の普及促進について／本議題につきましては、認定こども園の認定状況、独自の補助制度の有無等について、事前の調査資料とあわせて、各都道府県からその状況を伺いました。また、認定こども

## 幼児教育予算の確保に関する決議

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な意義を有する。我が党では幼児教育小委員会を設置し、幼児教育の重要性を踏まえ、本年六月に、幼児教育の無償化を具体的に提言したところである。

また、政府においても、「骨太の方針二〇〇八」及び教育基本法に基づく教育振興基本計画の中で、「幼児教育の将来の無償化について歳入改革にあわせて財源、制度等の問題を総合的に検討しつつ、当面、就学前教育についての保護者負担の軽減策を充実するなど幼児教育の振興を図る」とされている。

このため、国家戦略として次の事項について特段の配慮を求める。

一、 幼児教育の機会均等を実質的に保障し、国民が安心して子どもを育てていくことができるよう、幼児教育の保護者負担の軽減策の抜本的充実の見地から、幼児教育の無償化を目指すこと。

一、 先般政府・与党として決定した「生活対策」に基づき検討が進められている「持続可能な社会保障構築とその安定財源確保に向けた中期プログラム」の策定に当たっては、少子化対策の一環として、幼児教育の無償化に要する費用を踏まえること。

一、 平成二十一年度幼児教育関係予算を拡充すること。特に、幼稚園就園奨励費補助金及び私立高等学校等経常費助成費補助金について充実を図ること。

一、 認定こども園の設置を促進するために必要な予算を確保する。

幼児教育議員連盟の総意に基づき、右決議する。

平成二〇年十一月二十七日

幼児教育議員連盟  
会長 中曽根弘文

園普及促進のためには財政支援が有効との共通認識を得ました。しかしながら、必要以上の設置基準の規制緩和に懸念を示す意見が出されました。

### ●各専門部会共通議題（協議概要）

一、 私立学校審議会における二段階審査等の事案及びスケジュールについて／本議題につきましては、調査結果報告をもって報告となりました。

二、 学校法人が解散した場合の手続きと残余財産の取扱いについて／本議題につきましては、調査結果報告をもって報告となりました。

三、 私立学校の設置認可に係る審査基準について／本議題につきましては、事前の調査資料とあわせて、各都道府県からその状況を伺い、意見交換をいたしました。本部会では、各都道府県での状況によりますが、教育上支障がないかどうかを審査基準となるべきとの意見が出されました。

四、 私立学校の耐震化に係る助成の充実について／事前の調査資料とあわせて、各都道府県からその状況を伺いました。耐震化に係る助成の対象としては、すべての子どもが安心

財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・監修

# 研修ハンドブック

## 内容

- 「保育者としての資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園幼児教育研究機構：作成)のカテゴリー別研修記録
- 研修履歴一覧表 など

## 資料

- 改訂 幼稚園教育要領
- 改訂 保育所保育指針
- 保育者としての資質向上研修俯瞰図 など

どのような研修に参加したかを記録し、  
教員としての  
資質向上を  
サポートします。

B6判 112ページ  
定価 700円(税込)

お申し込みは株式会社世界文化社および世界文化社(ワンダー)販売会社まで

世界文化社

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL:03(3262)5128(営業部)

して学べるよう学校法人立以外の私立幼稚園についても補助対象とすべきではないかとの意見が出されました。

五、学校設置認可後の取扱いについて（長期休校への対応に関連して）／本議題につきましては、事前の調査資料とあわせて、各都道府県からその状況を伺い、意見交換をいたし

ました。本部会では、私学振興助成法に基づく指導検査を行なっているとの報告や、事後の確認も必要ではないかとの意見が出されました。

### 全日私幼連・特別支援教育で意見発表

十一月十八日、文部科学省の特別

## 人権教育の指導方法等の在り方

（第三次まとめ）

文部科学省

文部科学省では、学校における人権教育の推進を図るため、平成十五年より調査研究会を設置して検討を進め、この三月には、その「第三次とりまとめ」がまとめられました。

この「とりまとめ」は、主として小・中・高等学校、特別支援学校における人権教育を念頭に、指導等の在り方や具体の実践事例などを示したものです。その中には、社会性の原型が培われる幼児期における指導の視点や、幼稚園との連携等に関する内容も盛り込まれています。

「第三次とりまとめ」について  
は、文部科学省のホームページにもその全文を掲載していますので、ご参照下さい。

HPアドレス：[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/024/report/08041404.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/024/report/08041404.htm)

「第三次とりまとめ」で検索  
（文部科学省児童生徒課）

支援教育の推進に関する調査研究協力者会議（座長・高倉翔明海大学学事顧問）が開催され、特別支援教育の推進についての全日私幼連へのヒアリングが行なわれました。全日私幼連からは、安家周一副会長が出席し、特別支援教育の推進にかかる意見を発表しました。

意見発表に続いて行なわれた質疑応答では、出席された特別支援教育の推進に関する調査研究協力者委員から活発な意見が出されました。

### ★今後の主な会合予定

- ▼1月19日・20日：平成二十年度・全国研究研修担当者会議（京都・京都市ガデンパレス）
- ▼1月27日：団团长会、理事会（東京・私学会館）
- ▼2月13日：平成二十年度一〇二条園研修会（東京・私学会館）
- ▼2月25日：常任理事会（東京・私学会館）
- ▼3月5日：理事会、(財)評議員会（東京・私学会館）
- ▼3月6日：(財)理事会（東京・私学会館）
- 平成二十一年度
- ▼5月27日：平成二十一年度定時総会（東京・私学会館）

### 幼稚園における 道徳性の芽生えを培うための事例集

文部科学省／編  
A5判 定価 本体130円（税別）

乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方と指導計画作成の手がかり、幼児の姿と教師の関わりなどについて述べた書。

幼稚園における  
道徳性の芽生えを  
培うための事例集



平成21年3月  
文部科学省

【新刊!】

### 幼児期から児童期への教育

国立教育政策研究所  
教育課程研究センター／編  
A5判 定価 本体600円（税別）

幼稚園及び保育所と小学校との連携を深めるために、国立教育政策研究所が研究を進め、具体的な実践事例を中心にわかりやすくまとめた指導資料集。

幼児期から  
児童期への教育



平成21年2月  
国立教育政策研究所  
教育課程研究センター

ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表  
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

平成20年度上半期の会務運営状況など報告

十一月二十八日、東京・東京ガールデンパレスにおいて常任理事会が開催され、二十八人が出席しました。議長に前田邦光副会長、議事録署名人には中沢悦理常任理事、田中辰実常任理事が選任されました。

■報告案件一…全日私幼連会務運営の件／各委員会委員長、プロジェクト座長から資料をもとに説明・報告がありました。

■報告案件二「認定こども園制度の在り方に関する検討会」の件／吉田

敬岳会長から資料をもとに同検討会の報告がありました。

■報告案件三…平成二十年度上半期決算報告の件／藤本明弘総務委員長より資料をもとに説明・報告がありました。

■報告案件四…平成二十年度上半期監査報告の件／坂本洋監事から平成二十年度上半期の監査報告がありました。

■審議案件一「こどもの豊かな環境プロジェクト」(仮称) 設置の件／吉田敬岳会長から同プロジェクトを設置したい旨の説明・提案があり、提案どおり議決しました。

■審議案件二「ITプロジェクト」(仮称) 設置の件／尾上正史副会長から同プロジェクトを設置したい旨の説明・提案があり、提案どおり議決しました。

設置者・園長全国研修大会を仙台市で開催

11・10  
11

十一月十日・十一日、宮城県仙台



市のホテルメトロポリタン仙台において、第二十四回設置者・園長全国研修大会が開催され、全国から五百十五人が参加しました。

▼大会テーマ／明日にむけて私立幼稚園の振興を考える ▼記念講演「百年企業に学ぶ、私立幼稚園経営の道筋」講師・佐藤芳直・株S・Yワークス代表取締役 ▼行政報告

開会式では、宮城県私立幼稚園連合会の村山十五理事長の歓迎のあいさつに続いて、塩谷立文部科学大臣、村井嘉浩宮城県知事、梅原克彦仙台市長よりご祝辞をいただきました。また、前年度ご協力いただいた愛知県私立幼稚園連盟へ感謝状が贈呈さ

I「幼稚園教育要領」講師・大谷圭介・文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育企画官 ▼行政報告II「教員免許更新制」講師・宮内健二・文部科学省初等中等教育局教職員課教員免許企画室長 ▼研究講座／三講座

▼協議案件一…公益法人制度改革プロジェクトの件／村山十五副会長より資料をもとに説明があり、協議を行ないました。また、本件について集中的な審議を行なうため十二月十八日に団体長会の開催が予定されている旨の報告がありました。

■報告案件…財全日私幼研究機構からの報告／財全日私幼研究機構の各委員会委員長より資料をもとに説明・報告がありました。

(総務委員長・藤本明弘)



ミャンマー大型サイクロン、中国四川省大地震  
に対する義捐金活動

WHO 本部へ義捐金を贈呈

皆様の温かいご支援に心から御礼申し上げます

全日本私立幼稚園連合会会長 吉田敬岳

ミャンマー大型サイクロン及び中国四川省大地震で被害を受けた子どもたちのために、全日私幼連が全国の私立幼稚園のご協力を得て実施した義捐金は、合計一千四百二十五万五千八百九十六円となりました。ご協力いただきました団体、幼稚園、保護者の皆様には心より御礼申し上げます。義捐金につきましては、その全額を十一月七日にWHO（世界保健機関）本部へ送金いたしましたので、ご報告申し上げます。

皆様から寄せられた義捐金が、苦しんでいる子どもたちのために役立てられることを願っています。全国の皆様の心がひとつになれば、それはやがて大きな成果に結びつくということを実感いたしました。

なお、義捐金のお礼・報告については、全日私幼連ホームページにも掲載しています。

ジュネーブより

ベン・ヤームド医師が

来訪される

十一月十二日には、スイス・ジュ

ネーブのWHO本部事務局から、災害と健康クラスター緊急援助・能力育成部部長のベン・ヤームド医師（写真右）が全日私幼連事務局に来訪され、全日私幼連の吉田敬岳会長と懇談しました。

吉田会長は、「日本の子どもたちがアイス一個を食べることを我慢して集めた義捐金です。ミャンマー・四川の災害で苦しんでいる子どもたちのためにぜひ役立てていただきたい

い」と述べました。

ヤームド医師は、「義捐金は被災した子どもたちのための事業に有効に使わせていただきます。日本の子どもたちや保護者の皆様へ感謝申し上げます。また、事業の詳しい報告書は、後日あらためてお送りします。今回、全日私幼連と共に、苦しんでいる子どもたちのために協力できたことを喜んでいます」と話されました。

WHO本部からお礼状

WHO本部から十一月二十一日付で、義捐金に対するお礼の文書が届きました（左）。お礼文の日本語訳は次のページのとおりです。





全日本私立幼稚園連合会  
会 長 吉田 敬岳 様

中国・ミャンマーにおけるWHO緊急保健活動への貴団体の貢献に関して

貴団体の2008年11月12日付けの文書について、去る2008年5月に中国を襲った大地震、ミャンマーでのサイクロンを受けてのWHO緊急保健活動に対し、総額 14,255,896 円ものご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

ご送金いただいたお金は、WHOの口座に確かに入金されたことを確認いたしました。このように多額の寄付金をいただきましたことを事務局長に代わって厚く御礼申し上げます。

取り決めのとおり、寄付金は中国とミャンマーに均等に分配し、合意された計画の概要に従って使用させていただきます。両国での活動につきましては、ご依頼どおり施行期間終了から3ヶ月後に報告させていただきます。

自然災害の被害を受けた2カ国の救済のための、貴団体関係者の皆様の積極的で迅速なご対応に深い感銘を受けております。

この機会を利用して、貴団体のご支援に心から御礼申し上げます。

また当文書に添付の手紙を貴団体加盟園の園児と保護者の方々にお渡しいただき、皆様のお力添えに心から感謝を申し上げたく存じます。

敬具

WHO 保健医療活動 担当  
事務局長補 Eric Laroche

全日本私立幼稚園連合会加盟園の幼児・保護者の皆様へ

WHOを代表して、この度の中国四川大地震・ミャンマー大型サイクロンの被害に遭った子どもとその家族のための義捐金活動にご協力いただいた皆様に、心から御礼申し上げます。

皆様からいただいた義捐金は、両国で被害を受けた子どもたちの支援のために使用されます。

中国では、四川省綿陽市第3病院における、地域密着型子ども向けの精神・社会的サポートセンターの発展に役立てます。このセンターでは被災者の即時支援ができるようになります。

ミャンマーでは、サイクロンの被害を受けたエーヤワディー管区において、新生児のヘルスケアを強化します。

皆様のおかげでこのような緊急支援活動ができることを感謝しております。ご支援をいただき誠にありがとうございました。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

WHO 保健医療活動 担当  
事務局長補 Eric Laroche

## 全日私幼連 第1回都道府県政策担当者会議

### 講演 「私立幼稚園にかかる私学助成の現状と課題」



講師 白間竜一郎 文部科学省高等教育局私学助成課長

去る十月七日、東京・私学会館において、全日私幼連の「第一回都道府県政策担当者会議」が開催されました。今号では文部科学省高等教育局の白間竜一郎私学助成課長の講演概要をお知らせいたします。

二〇〇六年度から、経済財政諮問会議の答申を受けたいわゆる骨太方針二〇〇六という閣議決定があり、

それに基づいて私学助成についても対前年度のマイナス一％を基本とするという厳しい状況になっていきます。四月に私学助成課長を前任から引き継いで、こういう厳しい状況だと聞かされました。こういう時だからこそ、現場の皆さんの声をよくお聞きして、きめの細かい行政をしなければいけないと考えています。

その後七月に、来年度は例年に加えてさらに二％の政策棚卸しを行うことを財務省が決めたという発表がありました。政策棚卸しをして重点課題推進枠の財源に充てるということとです。私学助成というのは経常費の補助金ですので、例えば建物をつくる公共事業とか、プロジェクトの事業費とか、そういったものとは性格が違うと説明したのですが、閣議決定ということで、私学助成についても二％分の政策棚卸しをして重点

課題推進枠の財源に充てることになり、何とか見直しができるものを選んで対応しました。

関係者の皆様からは、マイナス一％でも大変なのに、三％減の概算要求になるのではないかとのご心配をいただいたわけですが、何とか例年と同じように増額の要求をいたしました。高等学校以下の経常費については、対前年度の三十億円増の一千六十八億五千万円の概算要求となりました。皆様のご支援をいただき、予算獲得に向けて頑張っていきたいと思っております。

#### これからの経常費のあり方

今回の概算要求に関連して、私自身色々と考えさせられることがありました。例えば、私学助成も含めて国の施策について、皆さんの使い勝手というか、そういう声をいかに吸収するか、また私たちが考えていることをいかに正確に届けていくかと

いうことが大事だということ。公費を私学にどのように投入していくのかという課題、限られた財源をどうきめ細かく皆様に届けるかということもあると思います。

特に大学の話ですが、子どもの数が減っていく中で、経常費が増えていくということはどう考えるかという指摘もありました。子どもが減る中で公費の支出のあり方は今のままでいいのかという指摘もあります。そのときに、支出に足る質の担保ができていいのか、質の保証ができていいのかという議論もなされます。

これだけ国の財政状況が厳しくなってきましたと、公費支出をするかには、それに足る質をきちんと担保してもらわないと国民に納得していただけないということが指摘されます。そういうこともあって、大学については中長期的な課題ですが、中教審で量の問題と質の問題が検討されています。

国民の皆様から見ると、今の高等教育全体の質がきちんと担保されているのか、そして、子どもが減っていく中であって高等教育の規模をどう考えていくのかという議論になって

いるわけですが。

ここからは幼稚園も関係してきますが、額の多寡はとりあえず置いておいても、引き続き私学助成を行っていくにあたって、やはり質の問題といえますか、そこがこれからさらに厳しく問われることになるのではないのかと感じています。公費支出と質の問題ということがあると思います。

それから、我々行政に携わる者が、よりきめ細かな視点を持つことも必要だと考えます。都道府県の行政の皆様にはお話しする機会がそれなりにあるのですが、そこからさらに現場でどのようになっているのか、使い勝手がいいのか悪いのかという話をじかにお聞きできる今日のような機会は本当に大事だと思っております。いろいろな声を聞いて、反映できることは行って、使い勝手がいいようにしていきたいと思っています。

### 概算要求・経常費助成費補助

私立高等学校等経常費助成費等補助につきましては、総額一千六十八億五千万円の概算要求を

させていただきました。例年と変わったことは、先ほどお話しした政策棚卸しへの対応です。今回、制度を変えたきっかけは、棚卸しをする

からには時代に合ったものにするとか、あるいは皆様の使い勝手がいいものにしていくということがありました。

政策棚卸しの関係では、教育改革推進特別経費、ここが変わったのは一目瞭然だと思えます。今まで国際化推進経費と学校活性化・個性化推進経費という経費がありました。それから特別補助の教育改革推進モデル事業。この三つを統合して教育改革推進特別経費の教育の質の向上を図る学校支援経費といたしました。総額は十六億四千九百万円です。

それから幼稚園特別支援教育経費は三十三億円の要求です。対象園児が一人以上就園している幼稚園にも拡充するというところで、昭和五十三年度に八人以上からスタートして、予算の状況を見ながら少しずつですが進んできて、平成十一年度は一人以上に拡大し、ようやく来年度は一人以上に拡充したいという要求です。

### 経常費の主な改正内容

今年までの「少人数教育等きめ細かな学習指導の推進」の加算項目については一般単価に吸収しました。

「幼稚園の一種免許状保有促進」については引き続き加算項目としていますが、さらに「学校評価の実施状況」「学校施設の耐震診断の実施状況」を加算項目としています。それから、外国人教員の採用と帰国子女の受け入れからなる国際化推進経費と、学校活性化・個性化推進経費を中心に「教育の質の向上を図る学校支援経費」としております。

高校生の保育体験の推進についても体験活動という項目で吸収していますが、これはすべて新学習指導要領、教育振興基本計画を踏まえた対応です。伝統文化等に関する教育の推進や食育の推進、また環境教育、キャリア・職業教育、体験活動、生徒指導・カウンセリング、社会人・補助教員、教育の国際化、これらの項目はほぼこの順番で教育振興基本計画に盛り込まれています。

文部科学省としても約六十年ぶり



子どもが直接触れるものだから、より優しくソフトになりました。

**新登場** 安全への配慮も万全です。

## Bブロックソフト

HDF0215 セット ￥40,950 税込

HDF0216 バラ ￥21,000 税込

※詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。

### Bブロックソフトの特長

割れにくくなり耐久性・安全性がさらにアップ

落としても大きな音がしません。

柔らかくなったことにより、曲線造形もつくれるようになりました。

この弾力性が優しさのヒミツ!



## ジャクエツ

に教育基本法を改正し、初めて教育振興基本計画を本年七月に策定しましたので、教育振興基本計画にのつとつた学校教育の支援を前面に出しました。

### 預かり保育推進事業

私学助成の積算や配分の基準の考え方というのは、長年の積み重ねがあるからなのですが、ところによって必要以上に綿密という細かい計算になっている部分がありますので、そういうところではできるだけ直していきたくと思っています。預かり保育については、これまで細かいカウントをしてきましたが、通常の預かり保育と長期休業日等の預かり保育、これについて算出方法を変えていこうと思っています。

開園日の半分以上の日数預かり保育を開設している幼稚園を対象に、補助単価の計算方法は基礎単価と加算単価の合計額で、基礎単価については一園六十万円とし、加算単価については、子どもの数で計算できるようにしました。一日平均の預かり保育の時間はやめて、シンプルなや

り方にしたいと思っています。様々なご要望や声を聞いて、一番いいと思うやり方だと自信を持っています。が、実際やってみて、こういうところがもう少しということがあれば、それはまた来年度以降に検討していきたいと思っています。

長期休業日等の預かり保育推進事業については、長期休業日及び休業日のうち二十日以上預かり保育を開設している幼稚園を対象に、国庫補助単価を二十三万円としています。さらに、幼稚園教員免許を保有した預かり保育担当教員がいる場合の加算があります。

### 私立学校の耐震化

今年の夏前に地震防災対策特別措置法の改正がありました。改正法では私立学校についても、財政上、金融上の配慮をするものとするという規定が加わりましたので、私学の耐震化の促進策について財務省と相談をしています。耐震補強工事についての補助は、例年に比べるとすごい増額要求で百二十二億円。対前年度八十七億円増で制度改正も含め

た概算要求をしています。

私立幼稚園については二十三億二千万円です。現在、補強工事については補助率三分の一のところを、I s 値〇・三未満のものについては、二分の一に補助率を引き上げる要求もしています。先ほどの法律の計画期間が二十二年度までということもあって、国としては二十二年度までに耐震化を緊急に促進するという方針がありますので、補助率のかさ上げは二十二年度までとしています。

これと一緒に緊急総合経済対策に係る補正予算も同時並行で、国会で審議されています。耐震の関係では「児童を地震から守る学校づくりと防災対策」ということで、私立学校施設の耐震化事業の加速化のため、高等学校以下の補助率は、I s 値〇・三未満のものについては補助率二分の一、先ほどの概算要求の内容の前倒しということが盛り込まれています。八十億円という予算は幼稚園から大学まで全部含めた額で、例年に比べてもかなりの大きな額になっていますので、ぜひご活用いただきたいと思っています。

**園の安全を  
考える!**

園経営で予想されるあらゆるリスクに対応し、お答えします

# こんなときどうする?

子どもたちが安全で幸せな園生活をおくるための危機管理ブック



園生活編



労務編



資料CD-ROM付  
(for Windows)

**弁護士解説付き**      **わかりやすい内容!**



事例



解決の  
流れ



弁護士の  
解説

+



資料

セット定価: 13,650円 (本体13,000円) ケース入り      16-11223

セット内容: (園生活編) B5判 328ページ / (労務編) B5判 92ページ

〈資料CD-ROM〉 for Windows

◎お申し込みは貴園にお伺いしています小社特約代理店  
もしくは学研幼児教育事業部 03-3726-8711まで

学研

## 平成20年度 上半期の会務運営状況など報告される

十一月二十七日、財全日私幼研究

機構の第九回理事会が東京・私学会館において開催され、十八人（うち委任状出席五人）の理事が出席しました。

吉田敬岳（財全日私幼研究機構理事長のあいさつ）の後、吉田理事長が議長となつて議事を進め、議事録署名人に秋田喜代美理事、安家周一理事を選出しました。

### ○審議案件

一、評議員選出の件／森本成人評議員が退任したことに伴い、寄附行為第三十二条の規定に基づき、その改選について一同に諮ったところ、全員一致をもって次の先生を選出しました。

### ▼新評議員／永瀬浩

二、平成二十一年度以降の「免許状更新講習」の件／本件について審議

が行なわれ、原案を議決しました。

三、私立幼稚園における学校評価の件／本件について、審議が行なわれ、原案を議決しました。

四、教員表彰者制度・実施要綱の件／本件について審議が行なわれ、原案を議決しました。

### ○報告案件

一、理事の休職の件／橋本聖子理事が休職することについて、説明・報告がありました。

二、会務運営報告の件／研究研修委員会、調査広報委員会から活動状況について説明・報告が行なわれました。

た。

三、平成二十年上半期決算報告の件／本件について、説明・報告がありました。

四、平成二十年上半期監査報告の件／本件について、説明・報告がありました。

### ○協議案件

一、公益法人制度改革の件／公益法人制度改革プロジェクトからの報告について、説明・報告がありました。

（財全日私幼研究機構専務理事・富永栄一）

## 文部科学省だより

ます。

▼第一回／平成二十年十月十五日、議題・認定ことも園をめぐる現状と課題について▼第二回／平成二十年

十一月七日、議題・認定ことも園の意義や課題等について※内閣府HPにおける本検討会関係資料のアドレス／<http://www8cao.go.jp/shoushi/10motto/06kodomoen/index.html>

（幼児教育課）

## 認定ことも園制度の在り方に関する検討会

「経済財政改革の基本方針

二〇〇八」（平成二十年六月二十七日閣議決定）及び「社会保障の機能強化のための緊急対策」五つの安心プラン」（平成二十

年七月二十九日）に基づき、認定ことも園の制度改革に向けた検討

を行なうため、認定ことも園制度の

在り方に関する検討会が設置されました。本検討会についての詳細及び第二回までの議題は以下のとおりです。

なお、本検討会は来年の三月までに取りまとめをする予定となっております。

## 宮城県からのおたより

### 熱戦！バレーボール大会



県花・ミヤギノハギ

去る十一月十日・十一日に開催されました「全日私幼連設置者・園長全国研修大会」に際しましては、北海道から沖縄まで五百十余名にも及ぶ多数の方々の参加をいただき、盛会裏に開催できましたことに対し感謝申しあげます。

さて、今回は宮城県私立幼稚園連合会等の応援を得て、宮城県私立幼稚園PTA連合会が、独自に毎年開催しております「宮私幼PTA親善バレーボール大会」をご紹介いたします。今年の大会は、十月九日、利府町グランディ21において県内各地から、連合会加盟の半数の七十九園、約一千二百名のお母さん方の参加を得て盛大に開催されました。最も早い園は朝五時には出発し参加しました。

この日は各園毎に、カラフルなユニフォーム姿に身を包んだお母さん選手はもちろんのこと、保護者・教

職員の応援にも熱が入り黄色い歓声に包まれました。どのチームもこの日のために練習を積み重ねてきた結果、年々レベルアップが図られ、今年も優勝を目指して、とても白熱した素晴らしい試合が続きました。

六コート（ブロック）に別れてそれぞれリンク式で戦い、勝ち数、得失点によりブロック決勝へと駒を進めました。さらに、十一月十二日には、各ブロック優勝チームによる「クライマックス・シリーズ」が行なわれ、レベルの高い熱戦が繰り広げられました。

今年で三十四回目を迎えた本大会は、PTA連や宮私幼にとっても欠かすことのできない一大行事となっております。お母さん方の親睦と各幼稚園の融和に大いに役立っております。

（宮城県私立幼稚園連合会広報委員長、多賀城市・八幡花園幼稚園／鎌田俊昭）

温暖化による影響が世界的に年々広がっているようですが、熊本も今年は例年になく紅葉が目立ちます。また不景気になると殊更寒さを感じると、ひき逃げ事件等不幸な事柄が続いています。こんな憂鬱さを吹き飛ばしてくれるのが園児たちですが、明日の日本を支えていく子どもたちの教育の場である幼稚園の存在が、熊本においても御多分にもれず脅かされています。

人口や出生率の低下とともに減少する園児。ニーズと国の政策が絡み合い育児を保育所へ望む保護者の増加。預かり保育に始まり認定こども園への移行圧力とさまざまな環境変化が起きています。しかし、本連合会の夏期研修大会では七百五十人と過去最高の教職員が集う中、幼児教育について熱く研鑽を深めました。また認定こども園についての情報交換等設置者・園長研修会の回数を増

やし、次の一手をどう打つかや幼稚園はどう進むべきかについて設置者同士の話し合いの場を多く持っています。本連合会では、公益法人制度改革対応の特別委員会を立ち上げ、今後五年間で法人としての進む方向を決定すべく検討中です。また本連合会事務所移転問題が突如発生してきましたが、年度内に解決を図り、より良い連合会活動の拠点作りをしていこうと考えています。すべては子どもたちの最適教育環境を構築し、そこに働く教職員の生活の基盤をゆるぎないものにするために、本連合会の活動を充実していきたいと考えます。幼稚園の体質強化を図るため今が正念場です。さらに、平成二十一年度は九州地区設置者・園長研修大会を熊本で開催すべく鋭意準備中です。（熊本県私立幼稚園連合会総務広報委員長、上益城郡御船町・滝尾幼稚園／古閑榮実）



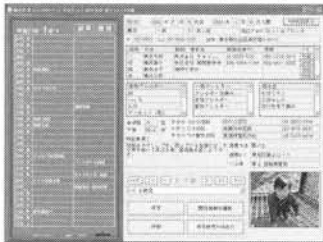
県花・リンドウ

### ここが正念場

熊本県からのおたより

北海道・東北地方から雪の便りが届き、子どもの心は楽しい冬休みに夢み、保育者には「師走」がやってまいりました。多くの幼稚園で、日本の伝承行事のもちつき会を行なっていることと思います。子どもたちにはぜひ心躍る直接体験をさせたいものです◆平成二十一年度より新幼稚園教育要領が実施されますが、近年の子どもの育ちの変化の中で、自制心や規範意識の希薄化、コミュニケーション能力の不足が気になります。自ら行動する力を育て、他の幼児と試行錯誤しながら共通の目的を生み出し、協力し工夫して実現していく(協同)環境を通じた教育を、より一層充実させていきたいものです。子どもたちの幸せのために◆学校評価について、これまでは努力義務でしたが、今回の改正で義務になりました。「幼稚園における学校評価ガイドライン」が文部科学省のHP (<http://www.next.go.jp/a/menu/shoutou/gakko-hyoka/08030824.htm>)にありますので、皆様とともに学んでいきましょう。(調査広報委員・梅澤眞理)

## 園児管理システム



## チャッピー園児シリーズ ネットワーク対応商品

園児の氏名・住所等の基本情報の他、疾病既往、アレルギー、家族情報等を管理することができるシステムです。

[主な印刷帳票類]

- ・園児台帳(2種)
- ・クラス名簿
- ・連絡先関係(かかりつけ医一覧、緊急連絡先一覧)
- ・アレルギー/既往症関係
- ・家族一覧
- ・DMシール
- ・ハガキ宛名

詳細につきましては、最寄のチャイルド社までお問合せください。

発売元

株式会社チャイルド本社

開発・販売

株式会社チャイルド社

医療の進化にあわせた、  
アフラックのいちばん  
新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える  
**アフラックの  
がん保険**



◎詳しくは、「バンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

**Aflac**

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

当社保険に関するお問合せ・各種手続き

コールセンター ☎ 0120-5555-95

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、①当社、その関連会社・提携会社の各種商品やサービスの案内・提供・維持管理、②当社業務に関する情報提供・運営管理、商品やサービスの充実となります。また、これらの利用目的のために個人情報当社指定の代理店に提供されることにつきご了承ください。

AFN広告-2007-203-0810020 12月6日

**THE 保育 101**

ISBN978-4-577-80313-4 10501

フレーベル館創立100周年記念出版

# THE保育-101の提言-vol.1

無藤 隆/編著 2,100円(本体2,000円)

26×19cm 210ページ

あらゆるジャンルの専門家、先駆者たちから届いた保育への提言。これからの保育を考えていくためのヒントが詰まった1冊。

本社:〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9

(03)5395-6608 営業総括部 (03)5395-6613 出版営業部

【豪華執筆陣】

小柴昌俊(物理学者)

椎名誠(作家)

田原総一郎(ジャーナリスト)

服部幸徳(料理評論家)

坂東眞理子(評論家)

日野原重明(医師)

やなせたかし(絵本作家)

ほか多数

100th

続刊予定

vol.2...2008年12月刊行予定  
vol.3...2009年12月刊行予定

フレーベル館

<http://www.froebel-kan.co.jp/>